

情報学部情報学科

実世界コンピューティングコース カリキュラムマップ（令和8年度～入学生用）

科目名	ディプロマ・ポリシー									
	1.1	1.2	1.3	1.4	2.1	2.2	2.3	3.1	3.2	3.3
<b>【共通教養科目】</b>										
自校学習					◎					
科学技術の進歩と人権									◎	
暮らしのなかの憲法					◎					
心理と行動					◎					
住みよい社会と福祉					◎					
現代社会と法					◎					
環境と社会					◎					
資源とエネルギー									◎	
技術と倫理									◎	
企業倫理と知的財産									◎	
教養特殊講義A					◎					
国際経済と企業の国際化									◎	
国際社会と日本									◎	
ビジネスモデルとマネジメント					◎					
メディアの読み方									◎	
教養特殊講義B					◎					
日本語の技法							◎			
近大ゼミ								◎		
情報学入門ゼミナール								◎		
科学的問題解決法					◎					
プレゼンテーション技術							◎			
教養特殊講義C					◎					
データリテラシー入門		◎								
暮らしのなかの起業入門									◎	
生涯スポーツ1										◎
生涯スポーツ2										◎
<b>【外国語科目】</b>										
総合英語1				◎						
総合英語2				◎						
TOEIC1				◎						
TOEIC2				◎						
オーラルイングリッシュ1				◎						
オーラルイングリッシュ2				◎						
オーラルスキルズ1				◎						
オーラルスキルズ2				◎						
アカデミック英語1				◎						
アカデミック英語2				◎						
技術英語1				◎						
技術英語2				◎						
海外技術英語研修1				◎						
海外技術英語研修2				◎						
海外語学研修（英語）				◎						
資格英語				◎						



科目名	ディプロマ・ポリシー									
	1.1	1.2	1.3	1.4	2.1	2.2	2.3	3.1	3.2	3.3
オブジェクト指向設計		◎								
ネットワークセキュリティ技術		◎								
人間中心設計論		◎								
コンピュータグラフィックス		◎								
モデル最適化基礎		◎								
調査データ分析		◎								
実世界コンピューティングプロジェクト1			◎			○				
情報学応用ゼミナール1							○	◎	○	
人工知能		◎								
アドバンストWebシステム		◎								
人工現実感		◎								
インタラクション設計		◎								
データベースシステム		◎								
深層学習		◎								
実世界コンピューティングプロジェクト2			◎			○				○
情報学応用ゼミナール2							○	◎	○	
サービスコンピューティング		◎								
複合システムデザイン		◎								
インタラクティブシステム		◎								
深層強化学習		◎								
情報セキュリティ		◎								
キャリアデザイン									◎	
データマイニング		◎								
社会シミュレーション		◎								
情報と職業									◎	
卒業研究						◎	○	○		○
社会情報学実習1										◎
社会情報学実習2										◎
社会情報学実習3										○
社会情報学実習4										○
基礎情報システム		◎	○							
eスポーツ		◎					○	○		○

情報学部ディプロマ・ポリシー

(知識・技能)

- 1.1 数学、自然科学に関する知識を情報分野の課題に応用できる。
- 1.2 情報分野における幅広い専門技術の知識を持ち、それらを課題解決に応用できる。
- 1.3 与えられた条件におけるソフトウェアの設計とプログラミングによる実装を適切に行うことができる。
- 1.4 外国語による国際的なコミュニケーションを行うことができる。

(思考・判断・表現)

- 2.1 多面的に物事を捉え、課題発見および課題解決を行うことができる。
- 2.2 与えられた制約のもとで、計画的かつ柔軟な思考により課題解決へ取り組むことができる。
- 2.3 日本語による明確な記述、発表、討議を通じて他者と効果的にコミュニケーションを図ることができる。

(主体性・意欲・態度)

- 3.1 課題発見と知識修得を自主的・継続的に行うことができる。
- 3.2 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、技術者として責任ある正しい態度で行動することができる。
- 3.3 他者との共同・協働活動に関与し、主体的に課題解決を図ることができる。